



# Public Information



毎月1日発行

〒444-0192 愛知県額田郡幸田町大字菱池字元林1番地1  
 ☎(0564) 62-1111  
 FAX(0564) 63-5139  
 幸田町ホームページ☑<http://www.town.kota.aichi.jp>  
 Eメール☑[kota@town.kota.lg.jp](mailto:kota@town.kota.lg.jp)

発行☑幸田町 編集☑総務部企画情報課

## 春のセンバツ優勝校 愛工大名電柴田主将が優勝報告

第77回センバツ高校野球大会で優勝した愛工大名電の柴田亮輔主将が4月6日(水)、母校である幸田中学校と幸田町役場に結果報告に訪れました。

柴田選手は幸田町出身の、182㍓、73㍓、右投げ左打ち、ベースランニングを1周14秒で走る俊足で、センバツでは2番ショートとして打率.421の高打率を残しました。特に準決勝の神戸国際大学付属戦では同点



持ち。試合で『ボールが自分のところに飛んで来い』と思えるようになるには、毎日厳しい練習をすることが大切」と話していました。

次に訪れた幸田町役場では、準決勝の神戸国際大学付属戦を振り返り「常に先手を取られて、苦しい戦いだった。2本の3塁打は先行されてチームの雰囲気少し重くなっていたので、思い切ってバットを振った」と話してくれました。

3塁打を含む4打点、決勝の神村学園戦では先制の犠牲フライや俊足を活かした盗塁などでチームを引っ張りました。

まず、訪れた幸田中学校では野球部の後輩たちから野球上達の秘訣などを聞かれ、「勝つことに大事なものは気



柴田選手は野球のみでなく、何においてもとても負けず嫌いな子でした。野球部では1番でショートを守っていました。2年の夏からレギュラーで、足が速くて肩もよく、守備範囲がとて広い選手でした。また、どの選手よりも大きな声を出してプレーをするため、みんなを引っ張っていくリーダー的な役割もこなしていました。

中学の時にケガをして野球ができなかった時期があり、ケガが治って久しぶりにボールを触ったときに、野球がこんなに楽しいとは思わなかった」と言ったことがとても印象に残っています。



りょう 松井 亮 先生

柴田選手の幸田中学校時代の野球部の顧問。柴田選手が2年生のときのクラスの担任でもある。